高校阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区北畠
大阪府立阿部野高等学校
新聞部
発行兼編集者
澁谷和一

生徒心得の實行
石田新風紀部長強調

前期自治会総選挙に於ける、多数の候補者の主張の中心とされた「生徒心得」は遂に六月問題化され、結局全廃案は否決されたが、その後茨木風紀部長は七月十二日の議会に突如辞意を表した。その理由は自己の主張と自治会の決議並びに学校当局の方針とが一致しない結果を指摘し、議会は翌十三日同辞任を承認し、同時に後任として石田風紀部員が推薦され、新風紀部長に決定をみたが、石田新部長は同日同じく風紀部員の辞表を提出していたが絶對多数の議員の願望に止むなくこれを受諾したことは、速報板の既報、石田新風紀部長の挨拶、及び八月八日の茨木前部長の説明、朝礼場前の貼紙で明らかであるが、ここに任期もあと僅かながら全会員注視の的である新部長の抱負、感想、希望を聽いてみた。以下はその要旨である。なお、茨木前風紀部長は記者の訪問に對しても同問題については一言も語らなかつた。

石田新風紀部長談

議会が風紀部の辞任を申請している私に全く思いもよらぬ風紀部長を任命された事は大変私をして当惑させられた事であつたが、一度全員より認められたからには、殘り少ない任期を風紀部長としての任務を果して行こうと思つている。

生徒心得が議会で廃止案が否決されたので、今後も生徒心得を守つて行く事が望ましい。今二年生一部の不良化傾向がみられると聞いているがそれはどしどし取締つて行く。尚、煙草の問題だが、警察に行く事は望ましくなく、むしろ我々自身で取締つて行くべきだと思う。又最近別な問題が起つて來た。というのは良く盗難が起る事だ。これは喫煙問題同様、厳重に取締らねばならない。又気の付いた事だが、女ばかりの組が大変教室が穢ない事で、もつと女子の方に清掃に関して注意を拂つて頂だきたい。

私の切望して止まない事は今後の風紀部長に對して、生徒全般を見て欲しい事である。極く感情的な行動は避けてもらいたい。先に云つた如く、生徒心得のある限りやはり守るべきもので、その線にそつて風紀を取締るべきだ。個人的な問題等取り上げず、生徒全体を見て欲しいものである。

生徒に望む事は、他人に迷惑を掛けぬ行動をすべき事でもし、問題となるべき事は自治会によつて解決すべきであろう。

尚夏期休暇中に何も風紀部の活動が出來なかつた事は残念な事である。

学校側と風紀部との對立には大きな関心を持つているが学校側の差障りの無い限り一應学校側で定まつた問題を自治会にかけて欲しいものである。もしその問題が生徒側に不利ならば学校側とでも戰う決心が出來ている。それでも学校側が強く出る場合は、学校有つての自治会であるから学校側に従うのが順當であろう。

後期總選擧に望む
松田尚士

選擧では一票が立候補者の当落を決定し今後の自治会の運営に大きな影響を與える。この重要な一票の用途を誤る様な事があつては大変だ。ことに数分間の演説だけで誰れが眞に自治会運営の才能と信念を持つているが見拔く事は容易な事ではない。ややもすると、口の達者な者、煽動的な意見を述べる者に大衆の人氣が集まるのが世の常である。我々はその様な大衆であつてはならない。彼等に對しては大いに警戒する必要がある。

しかし僕がそんな事より、もつと恐れるのは眞面目で、優れた才能と見識を持ちながら、地味であるが故に、選擧戰に破れ去つて行く人が出ないかと云う事だ。我々は玉石混合の中より玉を拾い上げねばならない。ピカピカ光るガラス玉や、美しい赤い石に迷わされてはならない。立派な玉はきつと奥ゆかしい光沢を持つているに違いない。それが我々の掌中に一度入つたならば盡きる所がない美しい光を放つて止まないだろう。選擧は立候補者を審判すると共に投票者の判断力を採点する絶好の機会であると云われている。過去の選擧を貴重な経験として生かし今回の選擧に正確な判断を下さねばならない。

立派な人物が当選した時、はじめて現在の自治会の欠点が補われ立派な自治会が作られるだろう。

論説
多催なる秋に望む

四十日に余る休暇も過ぎて若人の前には希望の青空が大手を拡げて開けている。

多催なる秋――考査あり、総選挙あり、文化祭あり、体育祭ありこの意義深きシーズンに全校如何にして臨むべきか。

長期の休暇は、或いは勉学にスポーツにアルバイトに個々多彩に過したが、休暇終れば「燈火親しむの候」直ちに休暇考査あり学期末考査が迫つている。この夏休み利用如何が二期制を施く本校の優劣に大きく影響することは云うまでもない。個々夏期生活に反省を促す必要があり、暑さに打ち勝つた者はそれ以上の好成績を修めんことを期すべきであり、暑さに打ち負かされた者はそのハンデイ・キヤツプを取り戻すために余程の努力と心構えが必要である。特に期待されるのは三年生の今秋の敢斗如何による來春の好成績である。

一方自治会に目を移せば前期自治会もあと三週間ばかりで後期自治会の総選挙を控えている。総選挙を前にして前期の総選挙を思い出すとき、全会員の猛省を望みたい。当時の新任教官連に「街の選挙戰」と評價された前期の立会演說会。当落に誤解を招來せしめたが如き不手際な選挙管理委員会の消極的態度等々。前期以上に文化祭、体育祭等對外的な行事を担当する後期自治会は、より生徒の聲を反映する自治会として眞に眞面目な会員が犠牲にならなくてよい自治会が成立せんことを期待する更に今回の総選挙に期待されるのは、三年生の上級学校受験等を考慮して二年生会員のより以上のふん氣である。

総選挙が終れば直ちに新自治会は文化祭並に体育祭の準備委員会の結成を急がねばならない。学校当局、PTA、自治会の三者が協同して運営する一年中の最も代表的で且つ最大の行事であるこの記念祭典も本年で三回目、一昨年は本校で、昨年は舞台を毎日会館に移し、また新たにファイヤー・ストームを加えての飛躍に、それぞれ社会情勢下にして最高と目される祭典が挙行されて來た。

三回目である本年も昨年同様記念歌の募集が行われるであろう。記念歌について思い起されることは校歌の制定である。創立ここに三年――第一、第二回卒業生は校歌なき母校の校門を出ていつた。折々何回か発意されながらその結實を見ずに今日に至つた校歌制定問題も第三回記念祭を記念して落着かせてはどうだろうか。情熱たぎる若人が高らかに歌う校歌の歌聲を――。いづれにしても計画、內容共に第一回第二回以上の記念祭の成果を期待したい。それには自治会は優秀なる準備委員会の作製と堅実なる財源の確保が必要である。

財政方面に触れるならば会費値上以來の会費納付状態八割という。四十円の会費は決して高くはない。全國平均五十円、近畿地区平均六十円に比すれば最低に近い。これ位の会費の納付を敢えて否む会員に眞の経済困窮者が何人いるだろうか。自治会はそれらの実態を調査する必要があるのではなかろうか。それらは常に叫ばれていることながら全員の協力が必要だそれはかりではない、本校の浮沈を賭けるという本年度の本校の一挙一動が社会に與える影響を考えるべきである。考査に選挙に体育祭に文化祭にと多彩に色どられるこの秋に、個人の自覚と全校の協力が何よりも必要なのである。

各校自治会の現況

昭和二十二年新学制改革による新制高校発足と共に各高校に生徒自治会が生れてここに約二年半。各学校共に相当の発展を見せ、かつての学校とは異つた成功性を期待されてはいるが、本校においても、今年度前期に至るや、俄然執行委員会並びに議会内部は左右對立の観を一般生徒にいだかせるが如き現状――ここに各高校自治会の現状はどうであろうか。危機をはらみ、波瀾の矢面に立つ各校自治会の實態をさぐつて見る。

勉學と自治會活動と兩立せず

（大阪府立生野高発）旬刊生高新聞六月三十日附第六四号の報ずる所によれば、同校自治会会長Y君は本年度前期の自治会成立以來自治会の飛躍的発展を試み予算を始め諸方面の計画に立派な会長ぶりを示し、その人格とあいまつて多数の信望をになつていたが同会長突然議会に辞表を呈出した。その辞任理由に家庭の事情と自治会活動と勉学を兩立し得なかつたという二点である。家庭的事情は同会長の両親が役員を続けることに對する徹底的反對ということである。

同校議会は種々審議の末結局二三對一で同会長の辞任を認めたが、各校自治会発足以來稀有の問題として注目されている。

危機はらむ自治會
風紀肅正の動き

政治活動？で波紋

（京都府立西京高発）京都府の名門西京高校新聞六月三十日附第十二号の報ずる所によれば、昨年は定員の三倍が乱出した同校自治会選挙も今回に至つては延期二回でようやく定員が届出でられた有様で、副会長以外は無投票で当選したさびしさだつた。たまたま同執行委員会は、平和を守るとの公約のもとのスローガンの線に沿つて「イールズ聲明反對」「教育の自由を守れ」と叫んで当時運動していた全学連にメツセージを送るとの提議を起し、生徒大会まで開いた。それは政治運動であるとの理由のもとに校長より同案却下の要請があり、ために事態止むを得ずとして役員総辞職を一應提出したが、一議員は良識を失つた役員会の下にある議会は解散すべきであると熟議、結局五二對二で可決された。一方学校側は責任をとる必要無しとの見地より役員と懇談の末一應総辞職は思い止まることとなつたが、役員側の辞意は意外に固く会長、書記長は辞職することになりその成行が注視されている。

生徒心得・下駄ばき禁止

本校自治会が昨夏他校に先がけて生徒心得を作成、下駄ばき禁止を行つて府下に注目されていたが、最近府下各校において風紀肅正の動き濃厚となり、生徒心得の作製下駄ばきの禁止等がいよいよ具体化して來た。本紙が調査した結果最近同傾向にある学校二、三を挙げて見る。

（大阪市立汎愛高発）市立汎愛高校では六月初旬八章、二十二ケ條からなる〃学校生活に関する規定〃が完成、ホームルーム及び議会を通過して正式に発効した。又学校当局は同時に登校下校時の下駄ばき禁止を発表した。

（大阪市立生野工高発）生野工高では六月二十六日、自治会は生活指導部より下駄ばき及び無帽に関する問題の勧告を受け、自治会はこれを受諾し執行委員会は九月より禁止することに決定した。また無帽禁止は先に議会で全面承認している。

（大阪府立佐野工高発）佐野工高では第七回議会で会長より生徒心得再起草案を提出、審議可決された。戰時中使用されていた生徒心得は現在無効となつていたが、現役員会は此の点を重視し議会の承認を得るや風紀部会とタイアツプして現自治会後期最大施設を實施しつつあり注目をあびている。

体育後援會

將來に期待
入会者少し

夏季休暇に先立ち此度新発足した体育後援会は、其後何をしているのであろうか？これ一人運動部のみならず、生徒諸氏の知り度い所であろう。そこで記者は会長金子氏宅を訪れ一問一答を試みた。

問　発足の動機は？

答　ソフト・ボール部が優勝して東京に遠征した。然し父兄の負担が大きくなるので何んとか軽るくする方法は、と考えた擧句P・T・A以外に何かを作つてはと云つたのが動機である。

問　では会の目的は？

答　規約第二條にもある様に、生徒の体位向上と各運動部の援助が目的である。

問　予算について。

答　理想としては三〇〇口、三〇万円であるが現実には一五〇口、一五万円あたりに落ち着くのではなかろうか。

問　七月末日現在の統計は？

答　詳しくは解らないが一〇〇口一〇万円位である。

問　加入率は？

答　一年生が一番多く、それに続いて二年、三年である。

問　休み中の活動は？

答　全然しておらない。九月初めに整理をして直ちに活動する。

問　予算の配分は？

答　原則として各クラブ予算の割合で区分する。

大体以上がその要旨で、九月以後の活動を期待すると共に、体育後援会の今後の発展を祈る。

修學旅行十月初旬？

噂されていた三年生の修学旅行は今の所まだはつきりしないが、一部からの情報によれば、大体東京又は九州方面に行くのではないかと思われる。尚日程は前期学期末考査終了後で、十月の初旬頃になる予定である。

後期總選擧
十五日前後か

後期自治会の総選挙は、記念祭の事もあるので執行委員会の方でもその日程を考慮している。それによると二、三の反對はあるが、大体期末考査迄には完了したい意向である。

期末考査は九月二十日以後になる模様なので、選挙は十五日前後になるものと思われる。

滞納者20％
會費値上とその後

昭和廿五年度前期自治会が、各クラブの要望に應え、今迄の自治会費三十円を四十円に値上げし、クラブ活動の奨励を行つた。

然し、その後八月迄の現状を見るに、クラブ要請の支出が例年に比し非常に多いのに、その源泉ともなるべき自治会費の収入が餘り思わしくなく、会計の苦痛の種となつている。

即ち、八月迄に收入される筈の自治会二〇万円が、未だにその八割の十六万円しか入つていない。その收入状態を学年別に見ると、先づ最下級生の一年生は、略一〇〇％收めており、各組に付多くて三名、良好な組は未納者皆無と云う有様で、その眞面目さを示している。二年生は大体七五％位で、各組に付き三名乃至十名の未拂者がいる。さて最上級生の三年生は約六五％となつており、各組共五名以上の未拂者があり、或組等は八月分の会費を全員が拂つておらず級会計の怠慢か、自治会からの連絡不充分から生じたものと思われる。又不拂を決めこんでいる者もある様子で会計を困らせている。

アイスキヤンデーの利益金も、住高との事等あつて賣初めが昨年より半月程後れ、又二期制の爲考査が早く行われ、其他生徒の金廻も良くないのか、種々の事情により賣行きは極めて不良である。昨年の賣上利益高は三六、〇〇〇円であつたが、今年は現在迄一三、〇〇〇円に過ぎず、十月迄賣つたとしても昨年の額高には到達しそうもなく、この調子では予算の五〇％、良くて八〇％位にしかならない模樣である。

良書紹介

◉郷愁　ヘルマン・ヘツセ
草の葉　ホイツトマン　長沼重隆訳
ロマンローラン　片山敏彦
（ブルノー・タウト著作集第一卷）
◉ニツポン　ブルノー・タウト　篠田英雄全訳
以上飜訳物
◉眞実を求めて　矢野貞祐
◉語られざる眞実　菅季治
◉書齋の生活について　塩尻公明
樹氷の世界　中谷宇吉郎
心の小径　金田一京助
日本の遊戯　小高吉三郎
茶碗鑑賞の書　小野賢一郎

右にあげた中で「ニツポン」は特に珍らしく、著者（Bruno Taut）は一八八〇年プロシヤのケーニヒスベルグで生れ、その血統がユダヤ系であるとの疑のためナチスの迫害を受けてドイツを去つたがこれは無根の噂で、彼は数学的才能に卓越した建築家であつて「鉄の記念塔」「ガラスの家」等の工作によつて近代的建築思想を大膽自由に表現した人物である。ゆくりなくも日本に來て、流浪的な窮乏生活を送つたが、故國の思想や藝術を持ち込むばかりでなく、日本特有なものに藝術的表現を與え得ている点を知らねばならない。「心ある外國人はこの美しい國土の自然や神社佛閣或は林家などよりも寧ろ生活のあらゆる事象のうちに今なお生きている日本の傳統にこそ強く心を惹かれる」といい、「日本が世界における唯一無二の存在として植民地化の運命を免かれてきたことを喜ばずにはいられない」と言明しているのである。「最大の單純の中に最大の藝術がある」と卷頭に書いてある。（渡辺）

針の穴

四十日に余る長い夏期休暇は終つた。その間アルバイトに行つた者田舎へ帰つた者、家庭で暮した者又講習に出て來た者等皆各々の立場で有意義に過した事と思う。▲さて我々の自治会ではどうであつたろうか。昨年及び今年と、この夏期休暇時分になると、自治会に変動があつた。即ち昨年は植田会長の辞職、今年は茨木風紀部長辞任と自治会のエアポケツトである。▲茨木風紀部長の辞職理由は彼の貼紙や説明等によつて明らかであるか、彼を辞職に迄追い込んだ我々も、又反省せねばならない反面、彼も学校を作つている生徒の一人であり、自治会の会員である事を忘れてはならない。▲此の度議員の絶大なる要望があつたとは云え、自らの意志に反し学校の爲、自治会の爲に新たに茨木氏の後任として風紀部長となられた石田氏に、我々は感謝の意を表すると共に、今後再び彼をして茨木氏の様な立場に至らしめぬ様、お互が注意し、学校及び自治会に協力せねばならない。▲総選擧も今月中には行われる。風紀部長の問題等があつた後だからと云つて、ひるんではならない、むしろふん起して多数の立候補者が出る事を希望する。▲この後期自治会は、文化祭、体育祭が眼前にひかえており、遠くは本校最初の男生徒が卒業し、社会に又上級学校に、本校の眞價を示して呉れる門出ともなる祝すべきそして多彩な記念すべき時である。三年生を安心して勉強させる爲特に二年生一年生の立候補者が多数登場される事を期待する。▲自治会費の問題も上級生徒程未拂者が多いと云うのはどうしたものか。勿論上級生は下級生よりも出費が多いであろうが、單にそれだけの理由ではないたろう又他にも理由がある人もいるだろう。然しもう少し考えて、使わなくてもすむ所は節約し、自治会費に当てるなら自治会の活動も、各クラブの活動も、もつと活発になり、そしてより良くなるであろう上級生の自律を待つ。

校外ニュース

生徒一人に先生五人

（兵庫縣発）北條高校の定時制の生徒は開校以來唯一人という淋しさ。この一人の先徒に對して先生五人という現狀。

ギヨツ！に税金

（東京発）跡見学園では最近ギヨツという言葉が大流行。そこで或る級では防止策にギヨツと発聲毎に税金五円を徴集する事に決定し生徒一同正にギヨツギヨツ。

長髪連とは絶交

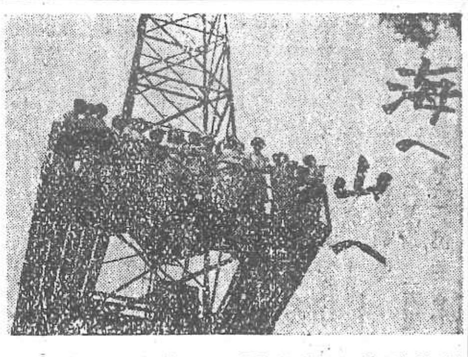
（宮崎縣発）樂館高校ではこの程長髪許可を要求したがたちまち女生徒より非難ゴウゴウ。遂に髪を延ばすなら絶交よと縁切状をつきつけられた男生徒たちまちにして要求取消しとばいやはや女生徒の御威光には恐れ入つたものである。

授業料にクーポン制

（大阪発）今宮高校では学校諸費の増加に比して自習時間の増加に悲鳴をあげた眞面目な人が授業料毎にクーポンを渡す事にしては…そうするとサボる人間にとつてはクーポン券が餘つて仕方のない事と思われる。

ヤジにもヤジ賞！

（沼津発）東高校では校内辯論大会にも痛烈なヤジを飛ばした者にヤジ賞を呈した。



四十日に餘る休暇各クラス、各クラブでは山に海に多彩なるプログラムで学校の夏休み日程を色どつたが、中でも生物、体育兩課の沼島旅行と歴史研究部の慣例金剛登山は代表的学校行事として前奏曲も華やかに挙行された。その海と山の生活を紙上で紹介しよう。（カツトは金剛山頂にて）

本校最初の臨海學舍

体育、生物

本校最初の行事として、生物科及び体育科が中心となり、去る八月十一日から十三日迄、大阪灣と太平洋との間にある沼島に於て臨海学舍を催した。参加者約二十名は松崎、今井兩教官の引率のもと、十日午後七時大阪の天保山を出港した。途中汽船は神戸、洲本に立寄り十一日午前三時半頃沼島に到着した。此の島は当地新制中学校教頭中田教官の話す所によれば、地層古く太古層で古くから此の島に傳わる神話、傳説がある。その一例として伊邪那岐命が最初に天沼矛によつて作られたと云うオノコロ島は此の島であると云う事で、島の山上にはオノコロ神社なる物もある。その他歴史的な古墳や、石器、土器等もこの島から発見されると云う事だ。

一行は毎日必ず海へ出て泳いだり、ボートに乗つたりして樂しく遊んだ。又船で沖釣に行つた者もあり、倍良を始めその他数種の魚を釣つた。此処は又漁村であり、時期が來れば非常に多くの種類の魚が獲れ、大阪とも密接な関係にあるらしい。又此島で名物になつている太平洋岸のそそり立つ岩石を見る爲に、島廻りも行つたが、生憎海がおだやかでなく、顚覆の一歩手前で途中から引き返した。然しそのスリルと絶景は行つた者にとつて決して忘れる事は出來ないそうである。十三日午後十時半に島と別れ、十四日朝六時に天保山に帰つた。

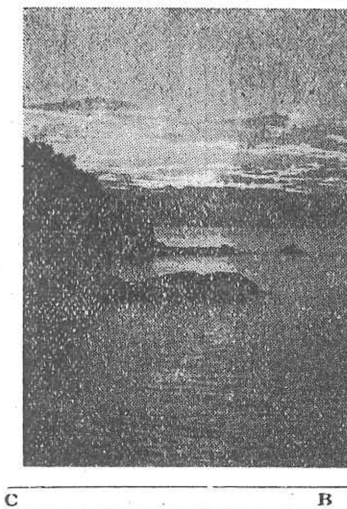
早曉の山頂征服

歴研、千早公民館に三日

一昨年來今回で三度目の歴史研究部金剛登山並びに史跡見学は八月一、二、三日間、山村教頭を初め教官五名男女生徒三十六名が参加して一日九時長野駅集合をふり出しに挙行された。登山は昨年、一昨年に比して多人数の割に敏速に進み、観心寺訪問の後午後二時前大阪府立千早公民館に到着、同館では館長先生初め大歓迎ぶりで過去の本校生の残した印跡を讃えられ、規律正しき團体生活は開始された。班長の下四班に分割しての規律正しさで、入浴後の夕食に空腹を満たして舌鼓を打つ。夜は大廣間でかくし藝大会に我を忘れ、全員の決議によつて第二日は早曉をついての山頂征服を決定。

第二日四時太鼓を合図に全員起床班長引率で眞暗の中を山頂へ山頂へ……。頂近くなるや先頭の數名一團となり息をもつがず登り切り一氣に表忠塔に登る。見よ今や彼方の山端を出でんとする太陽――眞綿の如き山間の雲海――。二度と忘れられぬその壮觀を眺望しながらお八つの握飯を口へ……。下山後食事の後、各先生の講義、晝食後は二時間半の晝寝、昨夜のつかれの高いびき、中にはトランプをやるズル組もいる。同夜はフアイヤーストームの予定であつたが雨のために餅を食べたべ班對抗の二十の扉や諸遊技に十二時の廻るのも忘れてのさわぎ方。

第三日は八時起床で午前中は講義午後三時半下山の途について、三日間の山間生活に別れをつげる。愉しい中に楠公の遺跡見学、團体行動等すべて規律ある民主主義の模範ともいうべき三日間であつた。



歴史の暗流

田中卓

「さきに國會議員など日本人代表の一行は米議会を訪れ、日本の過去の行動が米國はじめその他諸國に迷惑をかけたことをわびたが、米國も日本の國会に代表を送つて故ルーズヴエルト大統領が日本を眞珠湾攻擊にまで追ひ込んだことをわびなければならない。この訪日米代表には故ル大統領の令息が理想的である」

これは去る八月四日附大阪新聞の報じたニユーヨーク・デーリー・ニユース紙社説（二日）である。由來、戰勝國はいつの世にも驕慢なるものである。しかるに、ル大統領が日本を眞珠湾攻擊にまで追い込んだことを詫びるといふ。さすがはデモクラシーの國アメリカである。虚心坦懐に開戰の遠因について自ら日本に謝罪すべきことを社説に掲げ、代表にル大統領の令息を以てせよとの主張。この是々非々の率直明快なる態度はわれら日本人の深く学ぶべき点である。しかし諸君は四年前のかの文明裁判を終生忘れることはないであらう。判決は終始日本の一方的な侵略的意図を強調した。そして何人も―唯一人の印度人判事を除いては―之を諒承したかに見えた。あゝ、この四年間。世相の変轉きわまりない激流にともすれば弄れようとする祖國の姿を目擊し、私は今や深き感慨に打れざるをえない。しかし眞實はやがて歴史が語るであらう。いな、それは既に語られつゝある。偉なるかな、チヤールス・A・ベアード博士。彼は二年前アメリカ歴史学会長として七十三才の老齢に屈せず、大膽にも大著「ルーズヴエルト大統領と一九四一年戰爭の到來」を書き、開戰の眞相を告げてアメリカ國民の反省を要望した。初めに紹介した一社説は、蓋しベアード博士の影響のいかに深刻であつたかを立証するものに他ならない。眞實を語らんとして權力に屈せざる人々。私は改めて心あるアメリカ人の勇氣と謙抑の態度に胸を打たれざるをえないのである。

さて話は変るが、今春私はHといふ友から妙な話をきいた。今年に必ず第三次大戰が起るといふのである。果して朝鮮問題が突発しHの説は常識化せられた感がないでもない。しかし彼の論拠は、今年一九五〇年、この四つの数字を足すと十五になるが、十五になる時に世界大戰が起るといふことがシオンの議定書に書かれているといふ点にある。シオンの議定書とは五六十年前に作られたユダヤの秘密文書で、その眞僞も未詳であるが、考えてみると、第一次大戰は一九一四年、第二次は一九四一年。成程足せば皆十五になるではないか。面白いと思つて私はその議定書を調べてみた。しかし私の見たものにはHの云ふ説は見当らなかつた。恐らくはHの冗談であつたらうと思う。彼は元來、奇言人を驚かすことの得意な男なのであるから。たゞこの偶然の機会から議定書を一読して甚だ興味を覚えた。しかし恐らくこれは信ずべからざる文書であらう。そこにはユダヤの選民思想、世界支配の方法が横溢してゐる。曰く「吾等の標語は力と僞善である。政治では力丈が勝つのである。力が政界人に必要な才智の中に隱されている場合には殊に然りである」曰く「吾々に反抗する國があれば、その隣の國から戰爭を仕懸けさして、その反抗を挫折する。若しその隣國も亦一緒になつて吾々に抵抗することになれば世界戰爭を起して彼等に答へなければならぬ。政治上で成功を収める秘訣はその企図を秘匿することである。外交官はそのやる事は言ふ事と一致してはいけないのである」と。

私は諸君と共にこれらの文章を事實として認めることに躊躇する。あまりにも不敵、あまりにも大膽な世界への挑戰であり、信じがたい故である。たゞ私に一抹の不安が、もしあるとするならば、それは私が歴史を学ぶ者であるが故であらう。歴史には、信ずべからざる陰謀さへ屢々繰返された事實をみるからである（筆者原文の儘）

アルバイト探訪

夏休みともなれば郷里へ避暑に行く人、クラブ別に大に活躍する人等、何らの拘束もなく自由に、四十數日を過した訳だが、一方進んでアルバイトをした人達は、一体どんな体驗を身につけただろうか。休暇中に有る、個々の行事、百貨店の大賣出しや、盆による鉄道会社の臨時雇い、清涼飲料物の大量運搬等。各会社、商店共貴重な人材を探すのに大童であつたが、一方職を求める学生には、又とない機会であつた。ここにその二、三を探り出そう……。

社會實地見學

小遣い稼ぎ少し

A君の話……この阿倍野近鉄百貨店には阿部高から男一人、女四人の学生が來ている。期間は七月二十一日から八月十五日まで手当は一日百三十円で、これは実習生均一である。僕は支店長に直接頼んで入れて貰つた。他の人達は全部事務所で働いている。じつと坐つているだけだが頭や目が割合疲れるものだ。夜はすぐ眠くなるが宿題等は出來る様だ。

Bさんの話……私は社会見學のためにやつてみる氣になつた。友人と共に先輩に頼み、高島屋の進物相談所に入つた。勿論その方面の知識は今では自信がある。七月二十一日から八月十五日迄で日給百五十円、希望としてもつとお客さんに上品さをもつて貰いたい事である。

C君の話……僕がアルバイトをしようと思つた動機は來年すでに卒業するし、今後の就職難に備えて一度實習の經驗も必要と考えたからである。友人と二人で學校に頼み、タイプライター工場で働いた。八月一日より十五日迄で日給二百円位である。大変面白かつたから來年もしようと思つている。やはり機械イヂりの好きな者はこういう事をすると、より知識が增してくると思つた。收入の使途は趣味方面に使いたい。

D君の話……僕は新聞方面に興味を持つている關係上、母が某新聞社の社長を知つている所から社会の実習になると思つて初めた。期間は七月十八日から八月廿六日迄で一日二百円である。感想として、活動による喜びを身につけた事で、外交訪問等で知識を廣めた。收入の用途としては、学習に使おうと思うが、家庭方面にも廻したい。宿閒はとても出來そうもないが、何とかしようと思つている。

大体以上の様な事であり、皆それぞれの趣味や考え、性格に合つた所を選んでいる所が面白い。又一樣に「社会は学校よりむづかしい事が今しみじみと分つた」と云つている人や、「よい勉強になつた今後も続けるだろう」と語つている人が多い。又この他、食糧加工所と販賣所との運搬をした人や、球場でのアイスキヤンデー賣り、製品工場へ行つた人、変つた所では先生の衣服を作つてあげて報酬を得た人々等である。やはり学生は学生らしい職業に進み自分の能力と才能、趣味を生かして働いた点等大変良い事だあろう。又收入の用途は全て趣味方面に使つたり学習書を買う人、何も用途とて無いから貯めて置く人等、餘り無駄使いは無いらしい。

排球男子

新人大會に優勝

各運動部猛練習

夏休みの利用如何が秋季大会初め各方面に影響する運動クラブの夏期練習をのぞいて見る。また休暇中の成績では排球部が府下新人大会に於いて堂々優勝を遂げて將來に大なる期待を抱かせ、卓球部では二年生戸田選手が近畿大会大阪府予選にベスト4に入り個人戰大阪代表として兵庫城崎に遠征してふん斗するなど好成績を修め、夏の花形水泳部は國本、田中両選手の活躍に旧來の汚名をぬぐい去つたような好成績等々、各部ともに秋にそなえての合宿を行い虎視眈々將來の榮冠をめざしている。

排球部成績

大阪府高校新人大会（七月二十五六日於藤井寺及び高津高校）

一回戦　本校（棄權）布施工高
二回戦　本校　2（21―10　21―14）0　高槻高
三回戦　本校　2（21―8　21―12）0　三國丘高
準決勝　本校　2（21―14　21―16）0　住吉高
優勝戦　本校　2（21―14　21―8）0　三島野高

國本、田中活躍

水泳部好記錄

かんかん照りつける日の午後水泳部をおとずれた。丁度練習の最中で白い水しぶきをあげて泳いでいる姿を見ると何かしら力強いものが感じられた。間もなく主將國本君が上つてこられたので水泳部の抱負並びに感想を聞いた。主將國本君は日やけした顔をちよつとほころばせながら次の様に語つた。

「本校水泳部も創立早や三年をかぞえ一昨年より昨年、昨年より今年と大きな躍進、向上をとげその結果が成績にも現われて來たが府下全体から見ればまだ練習不足やメムバーの不足等により確実なる地位を望むにはまだ前途遼遠な事があります。練習不足などの点では部員一同先輩のコーチを仰ぎ一生懸命やるつもりです。又一年生諸君の入部を大いに望んでいますなお皆様の御理解ある御援護をお願いする次第です」

この様な力強い主將の言葉に水泳部の今後の御健斗を祈りながらプールを辞した。

水泳部成績
五月二十一日　於生野高プール
對生野高、高津高、市岡高戰
八〇〇米自由型　田中武男　一着
一〇〇米平泳　國本篤弘　一着
七月十四日　於北野高プール
全日本大阪予選
一〇〇米平泳　國本篤弘　三着
七月三十、三十一日　於北野高
府下高校大会
全日本高校選手権大阪予選
二〇〇米平泳　國本篤弘　六着
四〇〇米平泳　國本篤弘　五着
府下十三位にランクさる。
八月十七日
大阪市民大会阿倍野区予選
一〇〇米平泳　國本篤弘　一着
田中武雄　六着
九月三日行われる大阪市民大会の出場權獲得。

國体が目標

ソフト合宿練習

ソフトボール部は、名キヤツチヤー村井さんを送り出し又二、三の選手を失い一時は途方にくれたが一年生のふん闘著しく、今日の強豪チームが出來るに至つた。去る七月二十八日より、五日間及び八月二十五日より五日間合宿練習を行つたが、これはあくまでも國民体育大会出場を目的としたものでその日課は、次の通りである。起床六時、練習六時三〇分―八時三〇分、朝食九時、学習九時三〇分―十二時、晝食十二時三〇分、自由時間一時―時三〇分、ルール研究一時三〇分―三時、練習四時―八時、夕食八時三〇分、入浴九時、就寝十時。学校が始まると運動場の関係で充分練習が出來ないので、十日間の合宿練習は、無我夢中だつたそうだ。

實力はA級か

籠球新人に期待

老練紀本選手の引退により、陣容には一時欠陷を來たしたかに見えたが、八月三日より七日迄の合宿練習によつて新人の進境大いに目ざましく、紀本選手の穴は完全に埋められるであろう。來るべき秋の大会には、チーム・ワークに又、新人の養成に多大の活路を切り開いた合宿の結果が顕著に現われ、A級突入は必至であろう。次に二、三の部員の聲を聞いてみよう。

「新人が余りにも上達したのでレギュラーがベンチを溫めねばならなくなるかも知れないね」とは嬉しい悲鳴。だが「アメリカの運動の権威者が球技中で最も理想に近い運動であると折紙を付けられた籠球が阿部高では余り知られていないからね！」とさびしそう。然し、「万難を排して、阿部高の爲に活躍しますよ」とは心強い。我々もまた應援に力を惜む樣であつてはいけない。

搖籃時代去るか

陸上競技部

溯ぐる年月搖籃時代にあつた阿部高陸上部は、今や前途に洋々たる希望を湛えて、漸次向上の途をたどつている。槍投のピカ一大竹君は入試を前に控えながらも、槍投のベテラン山本先生の御指導の下に秋の大会を目指して練習にいそしんでいる。新入の一年生も日進月歩の勢にて益々向上の途にある。然し主將の聲に「予算が少ない事」と聞く。されど、陸上部の前途は、遼遠にして且有望なり。

打撃のチームを

硬式野球部

誰からも愛されるチーム・ワークの取れたチームに、とは阿部高野球部のモツトーとする所である。一年生の活躍は大いに目ざましく打線の強化に日夜コーチ並びに先輩の指導の下に阿部野の名をはづかしめない様に練習にいそしんでいる。新主將扇井君は、捕手より一躍主戰投手になり、いくら打撃のチームを夢見てるとは言え、攻守走の三拍手揃つたチームの出現は我々の望む所である。彼扇井君以下の阿部高投手陣は近き日の登板にひかえてピツチングに余念がない。

扇井野球部主將談

八月三日は皆さんの御期待に背き敗れ去りました事は旧主將に代りましておわびします。今後はコーチ並びに先輩方の御指導の下に打撃のチームを作りたいと思つています。尙多数一年生の入部を歓迎致します。

校内スポーツ・デー

体育振興週間の各部クラスマツチ最終日の七月十四日には各種目とも優勝戰を行つた。それぞれの優勝クラスは左の如し。

野球＝二ノ二、蹴球＝三ノ六、
庭球＝三ノ五、排球＝二ノ七、
卓球＝一ノ四、籠球＝二ノ八、
ソフト＝一ノ四（一年女子のみ）

CAMERA NEWS

八月八日スナップ

四十日に余る夏休み唯一の全校出校日である八月八日の話題をカメラでとらえた三風景―。

講堂に於ける生徒集会の 元毎日新聞外交部員の尾崎氏の講演に引×つづいて行われた、クラブ発表のスウイング・クラブの熱演（上）と教員かくし藝のヒット山村教頭先生の御獨唱（中）「私は何故風紀部長を辞任したか」と題する違反三項?を数える朝礼場前の貼紙（下）